Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム招へい
（太平洋同盟　グループ）記録

テーマ：農業と ICT の利活用

１．プログラム概要

【目的】参加者は２０１９年に合意された「太平洋同盟間の共同宣言及び行動計画」にて具体的な協力分野として挙げられた科学技術・イノベーション分野のうち、スマート農業に関する日本の先進的な取組を紹介し、帰国後活かすことを主目的として実施しました。

【参加者】
以下 4 カ国の社会人 7 名
コロンビア、チリ、ペルー、メキシコ　＊順不同

【訪問地】
東京都、兵庫県

２．日程

■　事前学習（オンライン）：
　1 月 31 日　来日前オリエンテーション、本プログラム事前説明

■　来日プログラム：

2 月 11 日　（日曜日）　入国
　成田国際空港よりコロンビア、ペルー、チリ、メキシコ　訪日団入国

2 月 12 日（月曜日）オリエンテーションおよびテーマ別講義
　【オリエンテーション】来日時オリエンテーション
　【日本文化講義・体験視察】
　浮世絵講義・体験視察
　講師：牧野　健太郎氏

2 月 13 日（火曜日）テーマ別講義及び視察
　【テーマ関連講義】
　　外務省　中南米局　中米カリブ課長　佐藤　慎市
　【視察】
　　国会議事堂
　【表敬訪問】
　柘植　芳文外務副大臣

2 月 14 日（水曜日）移動・視察

東京都より兵庫県へ移動

【講義】「災害大国の近代史」

講師：神戸大学国際文化学研究推進センター長

岡田浩樹教授

【テーマ別視察・講義】

・南あわじ市における三毛作（一般社団法人スマートな島ぐらし推進協議会）

・データ駆動型農業の紹介（株式会社神戸デジタル・ラボ）

・ハウス管理、センシング・節水型の取組（株式会社アクアヴェルデ）

2 月 15 日（木曜日）　視察・移動

【視察・講義】

人と防災未来センター

兵庫県より東京都へ移動

2 月 16 日（金曜日）　視察・講義・報告会

【視察・講義】WOTA 株式会社

“生活用水の再生や一部対災害レジリエンスについて”

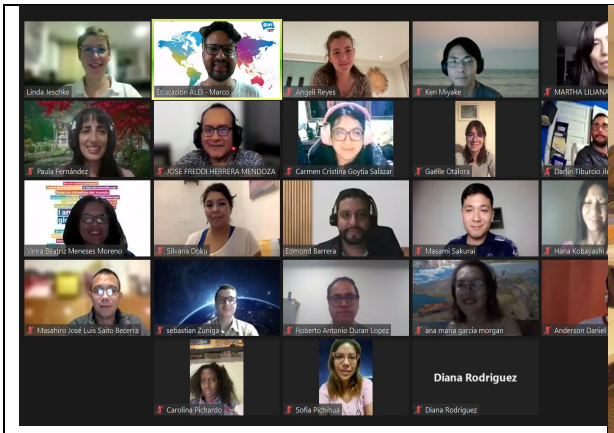
【講義】農林水産省　”スマート農業の開発について”

小花和宏倫大臣官房政策課技術政策室推進班課長補佐

【成果報告会】

2 月 17 日（土曜日）成田国際空港よりコロンビア、ペルー、チリ、メキシコ訪日団出国

３．プログラム記録写真事前・来日後オリエンテーション



1 月 31 日【来日前オリエンテーション】

2 月 12 日【来日後オリエンテーション】

来日プログラム

2 月 12 日【浮世絵講義】

2 月 13 日【テーマ関連講義】外務省

2 月 13 日【視察】国会議事堂

2 月 13 日【柘植外務副大臣表敬訪問】

2 月 14 日【講義】神戸大学

2 月 14 日【講義・視察】淡路島

2 月 15 日【視察・講義】人と防災未来センター	2 月 16 日【講義・視察】WOTA 株式会社
2 月 16 日【講義】農水省	2 月 16 日【成果報告会】

4．参加者の感想（抜粋）

◆　ペルー社会人

他国の人々と会い、経験を交換し、農業への応用に関して今回学んだことを、帰国後も交流を継続し、意見交換しあいたい。

◆　チリ社会人

今回の来日で学んだこと、特に淡路島でのスマート農業の取組について、帰国後普及し活用できる道を探りたい。チリと日本に関係することを学べる機会があればなおよかった。

5．報告会での発表（抜粋）

太平洋同盟グループ
・本プログラムで学んだことを帰国後 SNS を通じて発信し、普及につなげる ・スマート農業にかかる取組について、自国で今回学んだことを生かせる道を所属先内で意見交換を行う。 ・淡路島での取り組みについて、自国でどの部分が取り込むことができるか模索したい。

実施団体名：公益財団法人 AFS 日本協会